



9月定例会

議案質疑 P2~5

一般会計決算認定
特別会計決算認定
補正予算・人事

指定管理 P6

行政視察 P7

一般質問 P8~11

秋空にとどけ!
さわやかな歌声



子育て支援センター「ゆらっ子」

平成 29 年 9月定例会

9月7日～15日

決算認定

指定管理

一般質問

平成28年度決算

一般・特別会計総額67億円

今回の定例会では、報告1件、条例一部改正3件、指定管理1件、規約の変更1件、人事1件、平成29年度補正予算6件、平成28年度決算認定7件、剰余金処分1件、合計21件は慎重審議の結果、原案通りすべて、可決、同意、認定しました。

また、一般質問は4名の議員が登壇しました。

一般会計質疑 歳入

地方交付税の基準は

問 歳入のうち、地方交付税交付金が、約16億円です。交付金は算定基準があるが、現在の基準と一人当たりの金額は。また、人口の急な増減があった場合は。

答 総務政策課副課長 基準は、国勢調査の人口や、町道の総延長、小・中学生の児童生徒の人数等が算定の単位で、その数値に一定の割合をかけて計算します。単純に交付税の金額を国勢調査の人口で除した場合は、24万円程度となっています。人口の急な増減の場合、様々に補正する算定基準がありますので、場合によって異なります。

町営住宅家賃滞納

問 町営住宅に入居する際の契約内容は、企画政策班長

答 家賃は、入居者が負担し、賃貸期間が3年です。そして、契約の際には、連帯保証人2名が必要となります。

問 住宅の明け渡しは、不正行為があったとき、また、家賃を3カ月以上滞納した場合です。

答 家賃を3カ月以上滞納した場合、保証人の方に払ってもらっているのか。そうではないのであれば、法的処置も必要ではないか。

答 総務政策課長 現実的にはできないのが現状です。町の顧問弁護士とも相談しながら、どういう手続きをするのが一番良いのかを検討して、回収に努めたいと考えています。

一般会計決算	歳入37億7498万円	歳出36億3633万円
国民健康保険特別会計決算	歳入10億424万円	歳出10億386万円
後期高齢者医療特別会計決算	歳入1億5708万円	歳出1億5704万円
介護保険特別会計決算	歳入7億4565万円	歳出7億2133万円
公共下水道事業特別会計決算	歳入5億5984万円	歳出5億5850万円
漁業集落環境整備事業特別会計決算	歳入3億3709万円	歳出3億3619万円
水道事業会計決算	歳入3億3250万円	歳出3億3933万円

6000人の町づくり 町の家計簿・決算認定

● 一般会計質疑 歳出 ●



摂南大学 学園祭

摂南大学との提携は

問

摂南大学の学生さん達が、色々な事業に参加してくれていますが、具体的な内容は、

答

総務政策課長
住民とのワーク

シヨップ、健康講座、小学生の学習支援などです。摂南大学とのふるさと事業として、提携延長の必要性を感じ、事業協定を更新しました。

引きこもり対策は

問

昨年の一一般質問でもあったように、引きこもり対策をするべきだと考えます。

答

住民福祉課長

昨年、御坊保健所でシンポジウムが開催され、医師のお話などから、この取り組みには、医療的なアプローチが必要であると実感しています。今後、管内の課長会議

地域拠点整備工事

問

「ゆらっと紀州」の工事内容と活用の方

答

総務政策課長

28年度は、蔵の整備を行ないました。29年度は、台所の整備です。

稚魚の放流

問

漁獲高を上げるという目的の放流事業ですが、放流の成果がわかるような追跡調査はしたことがあるのか。

答

町長

実施をしていません。証するというのは、なかなか難しいことです。ただ、波止場、防波堤などでクエが釣れたり、海釣り公園でヒラメが釣れているようです。

答

参考・産業建設課長
放流事業について

では、漁業振興協議会において、魚種などを提案してもらっています。追跡調査については、

稚魚を放流して、少しでも漁業に貢献できたらと町が助成をしている状況です。



ゆらっと紀州「蔵」

決算認定



避難訓練

わかやま防災力パワーアップ補助金とは

問 この補助金は、どのように活用されているのか。

答 総務政策課長

県の補助事業で、市町村の防災事業に対して2分の1が補助されま

す。具体的な事業は、LED蓄電池内蔵型避難誘導灯の設置、家具固定金具の購入、自発光式道路鉞の設置、自主防災組織が実施する避難路の整備などです。

住民の転出理由は

問 転出において、転出先や転出理由は聞いているのか。

答 住民福祉課長

以前、統計をとったことがあります。県内での転出先としては、約半分が近隣市町で残り半分はそれ以外です。転出理由については、今後調査することは可能であると考えています。

非常通報装置とは

問 どのような通報装置を設置したのか。

答 教育課長

町内3小学校とゆらこども園に非常通報装置を設置しました。この通報装置は、ボタンを押すと直接、県警本部の通信室につながるようになっていきます。

介護保険料の見直しは

問 決算において、歳入、歳出差引残高が多いのは、どのような要因だったのか。

答 住民福祉課長

また、介護保険料の見直しは29年度になっているが、保険料の見直しは、繰越額が多い要因として、制度上、県から負担金をいただいていたら償還することになっていきます。もう一つの要因としては、施設についての介護給付金が計画値よりも下がったためです。



監査委員の審査意見

監査委員 神田耕二
玉置一郎

平成28年度の決算では、公共下水道事業を中心とする都市基盤整備及び漁業集落環境整備事業の生活環境整備、高齢者に生きがいを持って暮らしていただくための各種福祉事業、子育て環境の整備、消防・防災対策事業などが実施されており、住みよい町づくりのために積極的に取り組まれている。

今後も、由良町総合戦略の基本目標に沿って、住民ニーズに的確に対応した社会資本の整備、福祉施策の充実、地域の特色を生かした活力ある町づくりを目指して、限られた財源の有効かつ適切な活用を留意しつつ、より高い行政水準を堅持するために、創意工夫を凝らし取り組まれることを期待する。

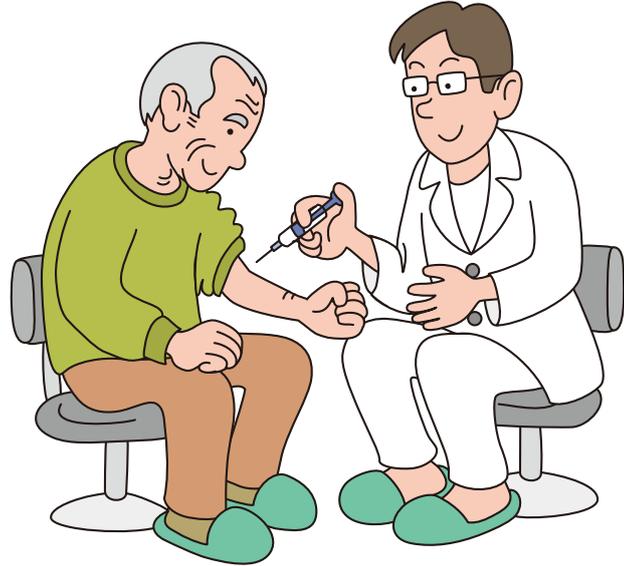
その上で、近年全国的に増えている局地的豪雨による土砂災害、台風等による風水害、今後予想される地震、津波等の大規模災害に備え、防災・減災体制及び対策の更なる充実強化を検討されたい。また、各種団体等への補助金については、実績、成果等で精査の上、今後慣例的な補助の廃止、見直し等により適切に支給されたい。

平成28年度 一般会計 特別会計

問 高齢者肺炎球菌
予防接種対象者の
うち、半分の方しか接種
されていない理由は、
保健福祉班長
65歳以上の対象
者の方には、案内を送つ

予防接種の啓発は

ています。
未接種者の方に対して、
もう一度案内を送るとい
う予定はありません。
手洗い、うがいをしつ
かりしていただくという
啓発をしていきます。



問 中央公民館の改
修について、補助
金を活用するが、具体的
な内容は、
教育課長
今回の改修は、
紀州材を使用することに
より、公共施設等木質化
支援事業補助金を活用し
ます。
現在、2階にある図書
室は、専門書中心に。
改修する1階図書室は
一般図書が中心になりま
す。

公民館の改修は

平成29年度一般会計
補正予算
1億870万円

問 この補助金の具
体的な内容は、
産業振興班長
由良町漁協の老
朽化した製氷機及び周辺
機器の機材を新しく取り
かえる事業です。
これは、由良町単独で
行なっている水産業に対
する補助です。

水産業振興事業補助金



中央公民館2階図書室

人事
由良町教育委員会委員
任期満了に伴い
青山さとみ氏
(衣奈310番地)
を選任することに
同意しました。

平成30年4月から 白崎海洋公園の指定管理者 『(株)マレア・クリエイト』に決定



**指定管理料、5年間で
最大5400万円**

平成30年4月1日から平成35年3月31日までの5年間、白崎海洋公園の指定管理者を、新たに「(株)マレア・クリエイト」にしたいという議案が提出され、全会一致で可決されました。

問

公益財団法人白崎観光公社が解散し、その後白崎観光プラットフォームに指定管理された経緯は。

答

平成20年、国の公益財団法人の制度改革が行われることにより、当公社は公益性が低く、公益法人としての運営ができなくなり、平成25年3月末に公益財団法人白崎観光公社を解散。
平成25年4月1日から「一般社団法人白崎観光プラットフォーム」を指定管理者に指定し、平成30年3月末まで公園運営

問

管理を委託しています。白崎観光プラットフォームの指定管理料は、5年間0円での契約であったが、(株)マレア・クリエイトへ指定管理料として、5年間最大5400万円の契約となっている根拠は。

答

5年前、赤字覚悟とも思える、指定管理料0円という契約条件で、2社からの応募がありました。
指定管理者選定委員会の5名により、審査の結果「一般社団法人白崎プラットフォーム」が妥当

答

町議決後、指定管理者となりまして。
今回、最大5400万円の指定管理料について、多いか少ないか、様々な意見があるかと思えます。
管理運営については、町の施設を管理することから、町の税金を投入しなければなりません。民間に運営してもらい、必要なものについては、当然、管理経費を支払って管理をしてもらうという事です。
来々4月からの指定管理者の公募については、今年5月15日から行いましたが、(株)マレア・クリエイト1社だけの応募で、指定管理者の選定を公平かつ適正に行うために5名の委員か

答

らなる指定管理者選定委員会を設置し、事業内容、管理体制等についてヒアリングを行い、慎重に審議を重ねた結果、妥当であると報告を受けました。
また、4年目と5年目については、利益が出た場合、10%から20%を町へ還元してもらうよう、今後、基本協定に向けて協議を行いたいと考えています。



決算認定

指定管理

一般質問

ゆら創生総合戦略調査特別委員会 行政視察

8月31日、ゆら創生総合戦略調査特別委員会は、「和歌山県消防学校」、「県防災センターと庁舎屋上ヘリポート」、大阪府岬町の海釣り公園「道の駅とつとパーク小島」などを行政視察しました。



県庁南別館屋上ヘリポート



県災害対策本部室



海釣り公園「道の駅とつとパーク小島」



県消防学校

県消防学校は今年4月、49億円を投入し、和歌山市冬野から加太へ移転・新築された施設で、暴風雨や土砂災害、地震の倒壊家屋を再現して訓練できる最新設備を整備し、各地の消防署員や消防団員の訓練を受け入れていることなどの説明を受けました。

災害発生時の状況を体験できる消防学校には、是非、町の消防団員にも活用してもらい、常日頃からの防災意識向上と備えが、改めて大切であることを委員一同実感しました。

県庁南別館の防災センターでは、災害対策本部や総合統制室、庁舎屋上にあるヘリポートなどを見学し、和歌山県の災害時における取り組み内容や施設見学を行いました。

また、関西空港埋め立て工事で使用していた土

搬出用栈橋を、そのまま活用した海釣り公園「道の駅とつとパーク小島」を視察。この公園は、地元漁協の協力を得て豊富な種類の鮮魚も販売する「道の駅」も運営し、視察当日は平日にもかかわらず多くの釣り客が楽しんでいました。

今回の特別委員会視察を踏まえ、委員会活動を通じて、町政へ反映したいと思います。

問

議員が町行政の問題などを問いただす「一般質問」は4名の議員が質問に立ち、町当局の考えを質しました。以下その内容を要約してお知らせします。



馬場 博文 議員

決算認定

指定管理

一般質問

● 水産業の振興と観光の結びつきは

○ 支援をし、連携をしていきたい

問 小引、戸津井地区でとれるアカモクをブランド化しようという取り組みをしています。また戸津井地区では、近畿大学がクエを育成しています。

答 町長 水産業については、藻場の種苗生産、移植アカモクの販売促進支援、酒粕漬けの開発事業等で、異業種間連携の強化、新たな消費拡大の促進で事業者の所得向上を目指しています。

現在、養殖漁家も激減して後継者不足ではありますが、岩ガキの商品化の話もあり、以前力キヤヒオウギ貝の養殖も行われていたことからすると、産業づくりとして、

陸上水槽での養殖については、事業者が主体的に取り組んでいっていたら、ただ町としても支援をしたいと思います。

問 白崎海洋公園が観光の拠点になっています。産業の振興と観光客をいかに結びつけていくか、今後の取り組みについて、町長の考えは。

答 町長 白崎観光プラットフォームが、日本版DMOの候補法人として登録されたところです。これが中心となり、各産業が一体となって、当町の豊かな自然、歴史、文化、豊富な産品を活用し、ブランドの発信、地域産業の開発と流通、観光商品等の情報発信、誘客活動の一元化、それに向かっての取り組みに支援をし、連携をしていきたいと考えています。

● 学校給食での地産地消は

○ できるだけ地元産品で

問 子どもたちに由良町で自慢できる農水産品をしっかりとわかってもらう。社会教育面でのサポートをしていくことは大切だと考えますが、学校給食で地産地消はどの程度あるのか。

答 町長 地元産品の利用は供給面で難しい問題があります。町としても、できるだけ地産地消というかたちで、食育という観点から子どもたちに感謝の気持ちなどを給食中にくみ取れるよう指導していき、そういう教育をしたいと考えています。

「食に関する指導の全体計画」を作成し、社会科や総合的な学習の時間等で行っています。

児童生徒の郷土への愛着がより深まるように、今後さらに、地域の特産物やそれらを使用した料理を知るなどの学習を充実させていきたい。

● その他の質問

・ 防災対策について



答 町長 学校教育活動の中で食育の推進として、

答 町長 学校教育活動の中で食育の推進として、



中村 真一 議員

一般質問

総合戦略の現況と今後の取り組みは

大きな効果を生み出すために、横の連携を強化し情報共有を行う

問

平成27年10月に、国が求める「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、「由良町総合戦略」を策定し、4つの基本目標を掲げ、継続して各種事業が展開されています。

4つの基本目標である①「安定した雇用を創出する」②「新しいひとの流れをつくる」③「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」④「時代にあった地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」に基づき、設定した施策は着実に実施されていますが、現時点において、期待していた以上に成果があった事業

業もあれば、思っていたほど成果が上がっていない事業もあったのではないかと感じています。総合戦略を策定して約2年が経過した今、これらの施策の検証結果をどのようにとらえているのか。

また、町独自の事業が展開されている中で、広報活動は、

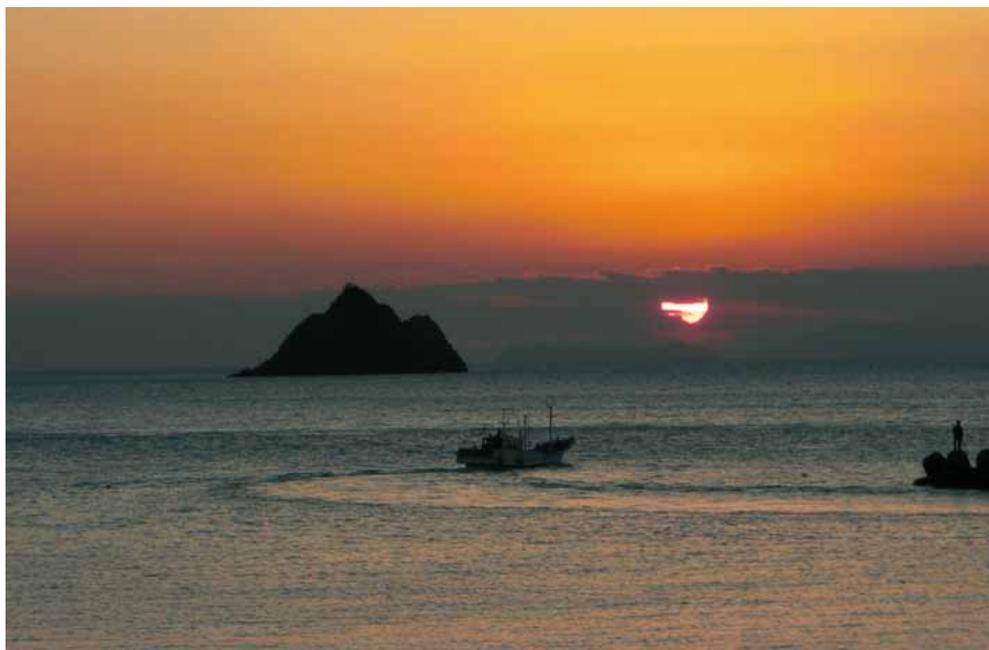
答

町長

4つの基本目標に基づいて実施した主な施策の検証結果についてですが、平成28年度末現在で、基本目標①「安定した雇用を創出する」では、新規就農者企業者数が目標の5割を、サテライトオフィス・スクール

の企業への貸し出し団体数が目標の6割を達成し順調に進んでいるものもあれば、③「若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える」では、成婚件数が目標の3割程度と達成率が低いものもあります。町としましては、目標を達成すべく毎年見直しを行いながら各種施策に取り組んでいます。今後も、今まで以上に横の連携を強化し、情報共有を行い、大きな効果が生まれるよう進めていきます。

は、新規就農者企業者数が目標の5割を、サテライトオフィス・スクール



質 問



由良 守生 議員

決算認定

指定管理

一般質問

● 風力発電の低周波による健康被害について

○ 風力発電の設置許可等は、町の権限が及ぶものではありません

問

今、全国的に風力発電の建設計画のある地域では、反対運動が盛んに行われています。インターネットに出ています。

被害の実態、メカニズムなどが、徐々に人々の関心事となって、広がっています。

畑地区の被害状況を映した「巨大風車の下で」の動画では、数千回の検査数が示されています。

由良町でも、平成24年9月に、ジャネックスという風力発電会社が由良町役場で事業説明した時、地域住民が猛反対して、事業中止となったことと同じです。日高町側でも、反対運動があっ

由良町を取り囲む21基

答

町長

の風力発電を止めてください。

風力発電を止めてほしいということですが、この風力発電の設置許可等は、町の権限が及ぶものではありません。

何回も答弁していますが、由良議員が国に対して停止運動をしたらいいのかなと思います。

町内の医師等に被害などの相談もなかったということですし、風車からの距離から見ても低周波の影響があるというのは納得いたしかねます。



一般



川出 純 議員

決算認定

行政視察

一般質問

● 若者の声をどう生かすか

○ 子育て支援に反映

問

由良町の出生数を考えると先進地であると考えられると人口減 思います。子育て対象は、0歳児の町施策については、良 については、月額5千



円、また、1歳児については、月額3千円のオムツ券の支給、また、1歳児から6歳児まで誕生日プレゼントがあり、学童保育は、小学校6年生まであり、医療費については、中学校卒業まで無料となっています。

また、インフラ整備では、下水道を考えると県内では先進地といっても過言ではありません。しかし、若い保護者から見れば、利便性の高い市町に転出しているのも事実であります。若者の声をどう反映するかが、由良町の発展にとっても喫緊の課題だと考えます。

2点目は、若者だけではありませんが、町を知り持てる人材の育成をしていただきたいと考えているところです。また、町の「語り部」をされている方が高齢となってきたので、由良町を訪れる方々にサービスできるような新たな「語り部」の後継者ができることを切に望んでいるところです。

答

町長

町と乳幼児の保護者の方々と接する機会、保健師や住民福祉課の職員ということになります。

そこで、2点質問します。1点目は、次世代を考えると幼児を抱えた保護者の意見が大切だと思うので、対話の方策を考えるべきではないか。

由良検定の創設ということですが、今は学校などでふるさと教育

サテライトオフィスで “ガンバっている会社” の2人に聞きました

サテライトオフィス
町総合戦略での廃校舎や空家を
活用した企業誘致をすること。
目標は2019年度までに5件、
現在、旧白崎中学校舎などで
4社が営業中。



旧白崎中学校舎内オフィスで

株式会社 ゆらちよう
井上慶祥さん (25)
由良町神谷出身

イベントの企画・運営、ホームページ・観光PR印刷物等のデザイン、地元産品の販路開拓、その他由良町に関わる事業をやっています、やります。

始めたきっかけは、2年前のサイクリングイベントの企画を担当したことからです。「ゆらちよう」の名で始めることに少し不安でしたが、意外と皆さん好意的で、応援してもらっています。

由良町を元気にする会社です！



旧白崎中学校舎内オフィスで

紀州ツーリズム
桐本佳樹さん (25)
田辺市(旧大塔村)出身

和歌山へ、由良へ多くの人に観光に来てもらえるよう頑張ります。

外国人客のために英語でのホームページも作成予定です。

その他、教育に関わる分野、たとえば天体観測などもやっていきたい。



由良町観光ガイドブック



編集後記

秋は、食欲の秋、スポーツの秋、いろんな楽しみ方があります。

祭りもその一つ。

わが町では、若者に数々の支援を行っています。

若い人が由良町に住んでくれると、未来が明るくなり、伝統文化も守れるかも……

12月には婚活イベントが行われる予定です。

若者よ集まれ！
そして定住を！！

(実)



議会広報編集委員会
委員長 中谷 茂生
副委員長 中村 真一

森 三枝子
山名 実
吉田ひとみ
玉置 一郎
川出 純